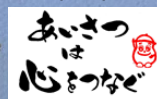


時計台通信



人権週間について思うこと

12月4日（金）～12月10日（木）は人権週間です。本校でも11月の末より、差別や偏見をなくし、思いやりやエールが溢れる学校になるようにと様々な取組をしています。その取組の一つに、子どもたちの人権標語づくりがあります。いくつかをここに紹介します。

- ・心の傷は どんなけがより 痛いんだ （6年生）
- ・和やかな クラスの仲間 宝物 （5年生）
- ・いじめやいじりを なくしてやさしい あいさつを 誰にでもしよう （4年生）
- ・みんなでね うれしい言葉 いいあおう （3年生）
- ・たすけあい かなしい子さみしい子 みんなのえがおでたすけよう （2年生）
- ・コロナでね わるぐちウワサは やめようね （1年生）

七区小学校の玄関に、全員の作品が掲示してあります。一つ一つの標語に、つくった子どもの思いと経験が込められているようで、思わず見入ってしまいます。一つ印象に残った標語があります。

- ・なおらない ついいてしまう わるぐちが （5年生）

この標語を読んで、星野富弘の「くちなし」という詩を思い出しました。星野さんは、中学校の体育の先生でしたが、宙返りの模範を見せているときに、着地に失敗し、首の骨を折ってしまいました。その日から、首から下がまったく動かせなくなったのです。事故の後、一日中ベットの中で過ごさなければならぬ自分の不幸を呪ったと言います。元気になっている他人が羨しく、人の悪口が口から溢れるように出てきたそうです。その時の星野さんは、本当に不幸だったと思います。しかし、その後あることが切掛けで、星野さんは、動かせる口を使って、絵や詩を書くようになり、そこに生きがいを見つけました。

標語を書いたこの子もけっして開き直っているわけではないでしょう。右の星野さんの詩と同様に、自分の口から出た悪口を一番近くで聞く自分自身が嫌なのです。これは標語というより、この子の「心の句」だなと感じました。

くちなし

鏡に映る顔を見ながら思った
もう悪口をいうのはやめよう
私の口から出たことばを
いちばん近くで聞くのは
私の耳なのだから

（星野富弘）

6年生思い出いっぱい日帰り修学旅行



① 11月27日（金）6年生が、日帰りの修学旅行に行きました。まずは、鷺羽山ハイランド入口で記念撮影です。



② みんなで楽しんだアトラクション。

③ 観覧車からは瀬戸内海が一望できました。



④ 思わず悲鳴、恐怖のアトラクション。



⑤ ブラジリアンテーマパークで、まさかの七区小オンステージ！本場ブラジルの人よりも、ダンスがうまい七区小の子どもたち。子どもたちの飛び入り参加で、会場は大盛り上がりでした！



⑤ 午後は、フルーツパーク備前で、まったりとミカンがります。

⑥ 試食をしながら、おいしそうなミカンを選んで採りました。



⑦ 最後にミカン畑の横の広場で鬼ごっこをしました。

「あきらめる」という言葉は、もともと仏教用語で「明らめる」と書いたそうです。意味も現在とは違い、「自分の努力でなんとかなることと、自分の力ではいかんともしがたいことを、賢く峻別する」という前向きな意味で使われていたといえます。人は、自分にできることがたくさんあるのにそれはしようとせずに、自分の力ではどうにもならないことをなんとかしたいと願うものだそうです。その結果不幸になってしまう。だから「明らめる」力は、人が幸せになるために必要だと考えられたのでしょう。6年生にはその「明らめる」力があります。鷺羽山ハイランドとフルーツパーク備前で、できることはすべてやって、存分に楽しみ、かけがえない思い出を創りましたから。鷺羽山ハイランドの舞台に飛び入り参加して、子どもたちがダンスを踊るなんて、想像もしていませんでした。後にも先にも、そんなことができるのは、七区小の6年生だけだと思います。6年生は、この旅行で、他から与えられる「楽しさ」ではなく自分たちの力で創り出す「楽しさ」を味わいました。誰にでもできることではないと思います。

2年生ソラ豆と玉ネギの苗植え



11月24日(月), J Aの西村さんと池内さんにおいでいただき、グリーンガーデンに、ソラ豆と玉ネギの苗を植えました。2年生の子どもたちは45本のソラ豆の苗と1400本の玉ネギの苗をていねいに植えていきました。これからの成長と収穫の日がたのしみです。

5年生大飯会と世界の米料理



11月20日(金)小林さんご夫婦においでいただき、恒例の大飯会を開きました。子どもたちは、お米のおいしさを堪能しました。



11月27日(金)世界各地の米料理を実際につくり、食べてみました。世界の米文化の多彩さに驚くとともに日本の米文化の特徴を改めて知る機会となりました。

Zoomでファジアーノの選手にインタビュー



12月9日(水), 5・6年生の子どもたちが、Web会議ツールZoomを使って、ファジアーノの選手にインタビューをしました。コロナ禍でサッカーを通して選手との交流ができない代わりに、企画されたイベントです。選手からメッセージもいただき、子どもたちにとって貴重な体験となりました。

2年生すくも焼きで焼き芋をつくる



12月17日(木)2年生が焼き芋をつくりました。2年生がグリーンガーデンで育てた芋と、J Aの鳥越さんからいただいた芋とで、合わせて七区小の子どもたち全員分あります。前日に2年生が一つ一つの芋をていねいに洗い、アルミで包んだその芋を、黒く焼けたすくもの中に入れて焼きました。多量のすくもは北七区町内会長の藤原さんからいただいたものです。できた焼き芋は給食の時間に、みんなでおいしくいただきました。



日	曜	内 容
1	金	元日 冬季休業日
2	土	12月29日(火)～1月3日(日)は学校は閉庁しているため、 新型コロナウイルス感染症への感染等冬季休業中のことで学校への 連絡が必要な場合は、1月4日(月)以降にお願いします。
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	始業式 地区児童会 短縮4校時 下校 1～6年 11:45
7	木	給食開始 身体測定・視力検査(5・6年) 就学援助申請(第3次申請)
8	金	身体測定・視力検査(3・4年) 就学援助申請(第3次申請)
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	月曜時間割 集金日 身体測定・視力検査(1・2年) 委員会 下校 1～4年 15:10 5・6年 16:00【見守り日】
13	水	牛乳パック・ベルマーク回収 元気アップ大作戦(～1/17)
14	木	牛乳パック・ベルマーク回収
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	全校朝会
19	火	下校 1～3年 15:10 4～6年 16:00【見守り日】
20	水	空き缶回収
21	木	空き缶回収
22	金	SC来校
23	土	土曜授業日(通常時程の3校時, 参観なし) 下校 1～6年 11:45
24	日	
25	月	クラブ見学 下校 1・2年 15:10 3～6年 16:00
26	火	代表委員会 下校 1～3年 15:10 4～6年 16:00【見守り日】
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

就学援助申請(第3次申請)のお知らせ

第3次申請は、主に9月以降に転入された方、世帯状況の変更等により経済的に困窮する事情が生じた方が対象です。

【受付日時】 令和3年1月7日(木), 8日(金) 午前9時～午後4時

【受付場所】 七区小学校 または 岡山市役所本庁舎7階大会議室(岡山市北区大供一丁目1番1号)

※上記の期間に来られない理由がある場合、1月8日(金)までに教育委員会就学課にご相談ください。

Tel 086-803-1587